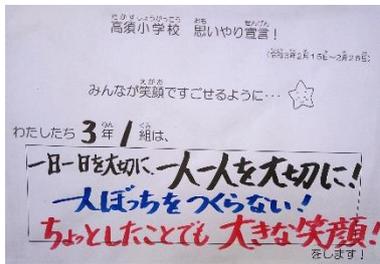


令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	尾道市立高須小学校	校長	梶原 弘志	担当者名	高橋 直輝
取組事例名		『高須小学校 思いやり宣言』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり	
取組における育てたい資質・能力					
協働性～個性を活かし，多様な他者と協力し，共に課題を解決しようとする力～					
取組のねらい					
○児童会役員が中心となり「思いやり強化週間」を設定し，児童の思いやりの心，協働性を育む。また，思いやりの心，協働性を育むことで，いじめゼロ・不登校ゼロの高須小学校を目指す。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>○児童会役員が「思いやり強化週間」を設定し，取組のねらいや取り組み方を全校朝会で周知する。</p> <p>○各学級，学級会で「思いやり宣言」について話し合い，学級の目標を設定する。また，毎日目標に対して振り返りを行う。</p> <p>○「思いやり強化週間」期間中に各学級，「グループエンカウンター」の授業を行う。</p> <p>○「思いやりを感じたこと」「心が温かくなったこと」等を紙に書き，台紙に貼る。</p> <p>○「思いやり強化週間」期間中に児童会役員が各学級の取組を確認し，がんばっている学級の代表者にインタビューをし，全校児童に紹介する。</p>			 <p>○生徒指導部で取組む題材を考え，各学年で統一した取組みを行う。</p> 		
取組の成果と課題					
<p>○今年度は，児童会役員から「思いやりの心を育てたい」と提案があった。昨年度の取組みを振り返り，児童が主体的に考え提案することができた。</p> <p>○アセスの結果では，「友人サポート」「向社会的スキル」の数値に伸びが見られた。</p> <p>○昨年度の反省を生かし，「思いやり強化週間」終了後も，思いやりを感じた行動等を帰りの会で交流した。</p> <p>●新型コロナウイルス感染防止のため，児童同士の交流をもつことが難しかった。コロナ禍における効果的な取組を今後も工夫する必要がある。</p>					